

受付日：平成20年1月25日

受付番号：HP08-KT002

接合部金物試験証明書

試験結果は、本報告のとおりであることを証明する。
平成20年2月21日

東京都港区浜松町2-4
世界貿易センタービルディング 26階
ハウスプラス住宅保証株式会社



試験体名称	両引き羽子板Ⅱ
試験依頼者及び住所	名称:株式会社 カナイ 住所:〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
試験の目的及び内容	1. 目的 「平成12年告示第1460号第2号表3」に相当する耐力を確認するために実施する。 2. 試験内容 耐力壁が取り付く柱の仕口(中柱型)引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は「木造軸組工法住宅の許容応力度設計((財)日本住宅・木材技術センター 平成17年3月3版発行)」による。 3. 試験体 (試験体の詳細については別紙に示す) 1) 金物 両引き羽子板Ⅱ 材 質: SPFH 540 (JIS G 3134) 寸 法: 113×33×39mm t=3.2mm 表面処理: 電気亜鉛めっき及び特殊コーティング 接合具(木ねじ) 柱側: 六角ボルト 材 質: SWRM 8 (JIS G 3505)相当品 寸 法: M12×140mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 六角ナット 材 質: SWRM 6 (JIS G 3505)相当品 寸 法: M12 表面処理: Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 角座金 材 質: SPHC (JIS G 3131) 寸 法: 40×40 t=4.5 表面処理: Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 土台側: 六角ボルト 材 質: SWRM 8 (JIS G 3505)相当品 寸 法: M12×180mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 六角ナット、角座金 材質、寸法、表面処理は柱側と同じ 2) 材料 柱:105×105×600mm すぎ 土台:105×105×1000mm すぎ
試験結果	短期基準接合耐力 9.3kN (詳細については3/30ページ以降に示す)
試験実施日	平成20年2月1日
報告書作成者及び試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 評定部 山本 広 株式会社開発設計コンサルタント 技術部 技術研究所 試験員 山川 正昭、尾上 裕介、千葉 博、鈴木 香澄

この接合部金物試験証明書を転載するときは、必ず全文を記載してください。

該当する耐力表

試験結果より	平成12年建設省告示1460号第2号表3		継手仕口の仕様	Nの値	許容耐力 又は降伏 耐力 (kN)
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの		短ほぞ差し	0	0
			かすがい打ち		1.08
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち若しくは厚さ2.3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの		長ほぞ差し込み栓	0.65	3.81
			かど金物CP-L		3.38
(は)	厚さ2.3mmのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本平打ちしたもの若しくは厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄丸くぎを4本平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの		かど金物CP-T	1.0	5.07
			山形プレートVP		5.88
(に)	厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めをしたもの若しくは厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの		羽子板金物 又は短冊金物 (スクリュー釘なし)	1.4	7.50
○	(ほ)	厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリュー釘打ち、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めしたもの又は厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリュー釘打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	羽子板金物 又は短冊金物 (スクリュー釘あり)	1.6	8.50
(へ)	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの		引き寄せ金物HD-10	1.8	10.0
(と)	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの		引き寄せ金物HD-15	2.8	15.0
(ち)	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの		引き寄せ金物HD-20	3.7	20.0
(り)	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの		引き寄せ金物HD-25	4.7	25.0
(ぬ)	(と)に掲げる仕口を2組用いたもの		引き寄せ金物HD-15 ×2個	5.6	30.0
-	-		引き寄せ金物HD-20 ×2個	(7.5)	40.0

※「平成12年建設省告示1460号」及び「木造軸組工法住宅の許容応力度設計((財)日本住宅・木材技術センター 平成17年3月3版発行)」による